

## 事業目的

コンテナ専用トラック等の導入を支援することで、ドライバーの労働時間、作業負担を削減するとともに、トラック長距離輸送から鉄道や船舶へのモーダルシフトを推進し、担い手不足への対応と環境負荷低減を同時に実現する。

## 事業内容

- 2024年問題を目前に控える中、貨物駅・港湾においてトラックからコンテナへの積替え作業が行われており、積替えに時間を要するとともに、ドライバーの作業負担が恒常的に生じている。
- また、2050年のカーボンニュートラルの実現のため、運輸部門においてもCO<sub>2</sub>排出削減が求められているところ、CO<sub>2</sub>排出量の少ない大量輸送機関である鉄道・船舶への転換(モーダルシフト)が必要になっている。
- このため、コンテナ専用トラック等の導入に補助を行うことで同車両を普及させ、積替え作業を無くすことでドライバーの労働時間と作業負担を削減するとともに、トラック長距離輸送を大量輸送機関へ転換させて担い手不足への対応と環境負荷低減を同時に実現する。

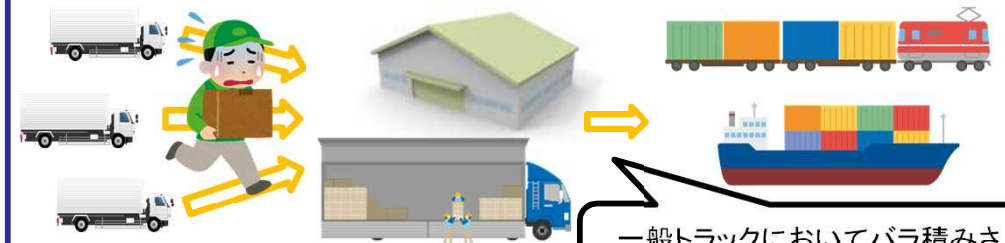


コンテナ専用トラック等のイメージ

## コンテナ専用トラック等導入のメリット

### ○コンテナ専用トラック等を導入しない場合

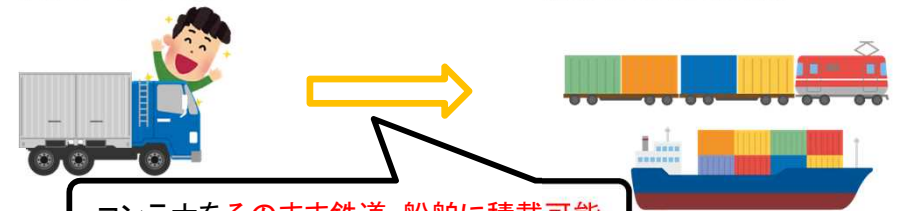
貨物駅・港湾の発着時にコンテナの積替え作業が必要であり、これにより作業時間、作業負担が生じている



一般トラックにおいてバラ積みされてきた貨物をコンテナに積替え

### ○コンテナ専用トラック等を導入した場合

貨物駅・港湾のコンテナの積替え作業が不要となり、ドライバーの労働時間、作業負担が軽減されるとともに、鉄道・船舶の利用が促進され、担い手不足への対応と環境負荷低減を同時に実現



コンテナをそのまま鉄道・船舶に積載可能

【補助率】1/2以内

【補助対象事業者】貨物鉄道又は内航船舶を利用して運送する貨物の集配を行う第二種貨物利用運送事業者等

【補助対象】コンテナ専用トラック等の導入に要する費用